

5区分	生活	25の施策分野	代行事業	事業名	県代行(道路改築)		
市町村名	小谷村	ふりがな 箇所名	そんどうかわじせん かわじり 村道 川尻線 川尻		工期 (年度)	当初 実績	
当初事業費	1,130,000 千円		費用対効果 評価時	当初	1.5	H13 ~ H17	
最終事業費	829,600 千円			完了後経過年数	3年	H13 ~ H18	
事業目的	幅員が狭く通行に危険な川尻踏切、姫川橋および姫川左岸の断崖上の道路では円滑な交通の確保ができない状況であったため、当事業により姫川左岸地域との交通網を強化し、地域振興に寄与することを目的とする。						
事業等経過	当初計画内容	道路築造工 L=260m(内橋梁118m) W=5.5(7.0)m					
	最終事業内容	同上					
	変更理由	なし					
費用対効果の算定の基礎となった要因の変化							
計画時交通量と現況交通量の差による。							
社会経済情勢の変化							
特になし。							
評価内容						ランク	
						部	政策評価課
事業効果の発現状況(S:目的を超えた達成 A:達成した B:概ね達成 C:達成したとはいえない)						A	A
整備の結果、利用者が安全・安心して利用できるようになったため、事業の目的を達成している。							
事業実施に伴う自然環境の変化(S:環境がよくなった A:影響なし B:影響あり C:影響が大きい)						B	B
新たな道路築造により、自然環境への影響があった。							
施設の維持管理状況(S:地域の人たちの参加あり A:適切にされている B:やや不十分 C:適切にされていない)						A	A
小谷村及び地域住民参加により沿線の草刈り等、維持管理は適切に行われている。							
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)						A	A
工事の必要性、納得度、重要性について約9割、満足度について約8割の方から評価されている。							
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要)						A	A
当事業としての改善措置の必要性はない。							
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している -:特になし)						-	-
特になし。							
部意見	橋梁を含む狭隘部解消により、利便性・安全性の向上が図られた。アンケート結果による地域の評価も高く、事業効果は高い。			政策評価意見	安全かつ円滑な交通が確保され、事業の目的を達成している。		
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等							
地域住民及び道路利用者の意見・要望等を計画段階の早期に確認し、利便性・安全性の向上が一層図られるよう、引き続き狭隘部の解消等に努めていく。							

5区分	生活	25の施策分野	代行業業	事業名	県代行(道路改築)
市町村名	小谷村	ふりがな 箇所名	そんどうかわじりせん かわじり 村道 川尻線 川尻		

アンケートの方法及び対象

事業箇所周辺の小谷村住民70人に対し、アンケートを実施した。

配布枚数 70

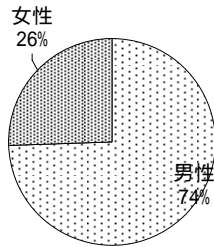
回収枚数 39

回収率 56

アンケート結果

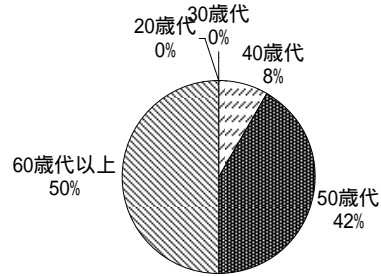
問1

性別



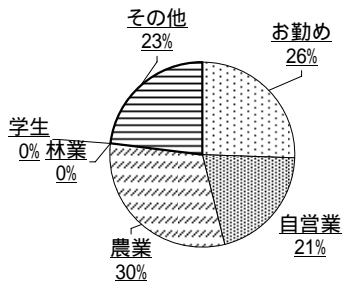
問2

アンケート年代別 回収率



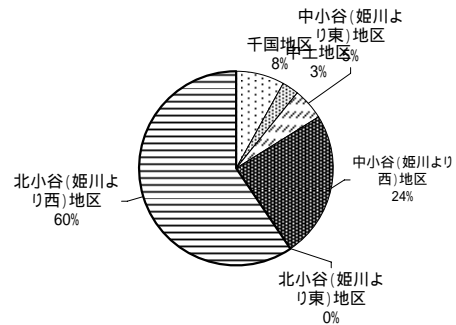
問3

職業は



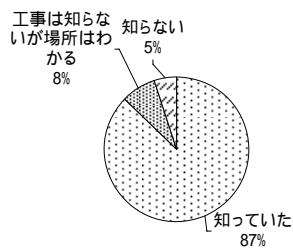
問4

あなたお住まいは？



問5

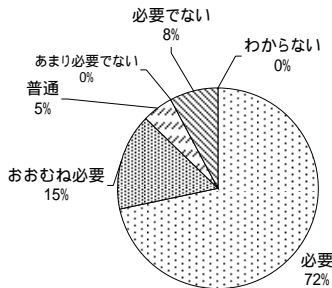
今回の工事(箇所)をご存知？



アンケート結果

問6 - 1

あなたにとって必要な工事？



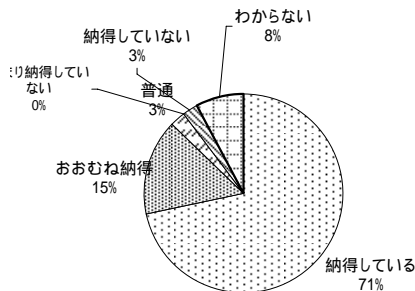
問6 - 2

<理由>

国道の通行止め等の非常時に迂回路として使うことができる。
 大型トラック等物流が多い中で、旧橋は狭く非常に危険だった。
 昔の橋は西側の出口が直角なので危険だった。
 旧道は雪崩が怖かった。
 浦川の工事に必要
 車両の大型化、通行量、道路の危険度などからみても必要であった。
 幅員が広くなり、踏切が無くなり、落石の危険もなくなり、安全性が高くなった。
 地域連絡道路として必要な工事。
 よく通勤などで利用している。
 地元の人たちがほとんど通らない道であり、そのようなことにお金をかける必要があるのかが分からない。

問7 - 1

工事に税金が使われていることに納得？



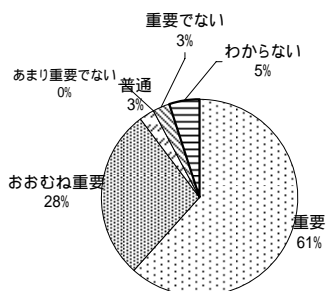
問7 - 2

<理由>

大勢の人が使う公共物であるから、税金を使うのは当然である。
 砂防工事も順調に進んでいるので納得している。
 冬期間はこの道路しかないので納得できる。
 夏季の登山客もこの橋をよく利用しているので、ありがたい。
 道路の整備は地方で生活するために重要であり、経済効果のみならず、安心と安全を担保している。
 JRとの関係がよく分からない。
 地元の人がほとんど使うことのない道なので、そのようなことにお金をかける必要があるのかが分からない。

問8 - 1

地域社会にとって重要？



問8 - 2

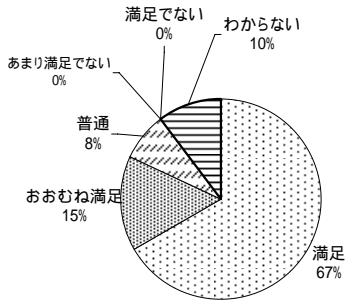
<理由>

国道の迂回路として重要
 工事前の姫川橋、川尻踏切がなくなってありがたい。
 対向車や雪崩、落石が無く安心して通行している。
 県有林もあるし、浦川の工事など重要な道路である。
 この先の区間を何とか考えてほしい。
 冬でも安心して通行できる。
 重大事故の後では意味が薄れる。
 これまでは十分な除雪をできなく支障を来していた。
 働く場の少ない地域にしてみれば、都市部への通勤や医療の面において、その恩恵は大きい。
 夏、冬両方の季節において必要。
 地元住人が生活道路として使っていない。そんな道路を整備するのであれば、もっと他の道路整備にお金を使ってほしい。

アンケート結果

問9 - 1

完成を見て満足？



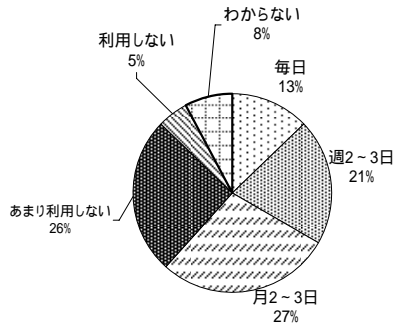
問9 - 2

<理由>

国道で何かがあった場合に迂回路として使えるので助かっている。既設の橋が老朽化しており危険であったので、事業が完成して満足。幅員が広がって安心して通行できる。この先の狭い区間を早期に何とか考えてほしい。橋がなければ過疎化が進み、登山客も減るばかりだったと思う。見ていない。

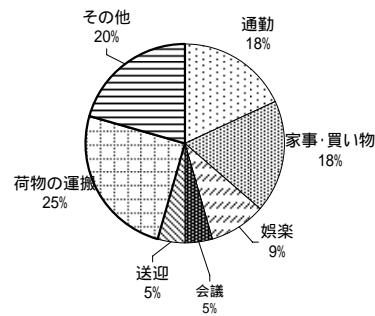
問10 - 1

当道路の利用回数



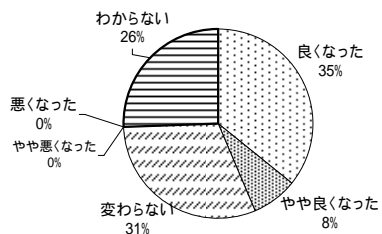
問10 - 2

当道路の利用目的（複数回答）



問11 - 1

自然環境の変化について



問11 - 2

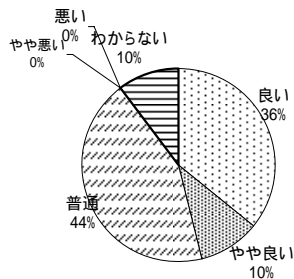
<理由>

景観など施工前と比べて大変よい。以前と比べて危険性がなくなった。安心して通行できる。古い鉄橋の音・振動に比べたら、魚にとって良い環境にはなったと思う。短期間ではあまり変化が無く、長い年月を経ないと分からない。特にこの工事によって変化はないと思う。

アンケート結果

問12-1

現在の自然環境について



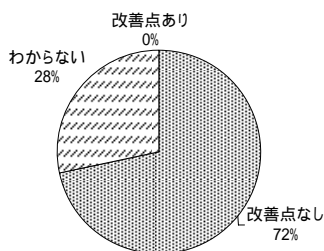
問12-2

<理由>

景観が良くなった。
幅員が広がった。
スムーズに通行できるようになったために、排気ガスは格段に減つ；
工事車両が多いため、その場に立ち止まることはない。

問13-1

工事について改善点はありますか？



問13-2

<内容>

改善点なし

問14

アンケート箇所に対してのその他意見、要望はありますか？

改善されて良いと思っているのに、なんでこのアンケートが来るのかが不思議である。
安心して安全に渡れる橋ができてありがたい。また、冬期間は除雪がきれいにされていて助かっている。

問15

公共事業に対して全般的な意見はありますか？

この先の地区まで狭い道を整備してもらいたい。
小谷村は生活道路の整備が遅れている。松糸道路等早く着工してほしい。冬が心配。
必要な公共事業（道路改良・治山治水・砂防等）は住民の安全安心のため、積極的に推進してほしい。
大町以北の国道迂回路を早急に整備してもらいたい。
冬季の緊急体制を確立してほしい。
ムダな工事をしないで、必要性のある工事は積極的に施工してほしい。
地元の建設業者も多く携わるようにしてほしい。
国道の草が伸びて見通しの悪い箇所が多い。道路面だけでなく、立体的に見てほしい。
地方の社会資本整備はまだ不十分だと思うし、長引く不況の中で裾野が広く、経済効果が高く、また即効性のある景気対策としての公共事業を見直してほしい。住みよい住居環境をつくることは子孫への義務だと思う。
国道・県道の補修工事をお願いしたい。
県道の白線を毎年直しているが、センターラインのカーブのみ、あるいは直線も要所だけでよいのでは。
サイドラインは必要ないのでは。除雪で毎年無くなるラインにお金をかける必要があるのか。
決まった予算の中で大変だと思うが、この小谷で生きていこうと思う人が大勢いる。地域の声を聞いていただき、少しずつ手をかけていただきたい。

5区分	生活	25の施策分野	代行事業	事業名	県代行(道路改築)
市町村名	小谷村	ふりがな 箇所名	そんどうかわじりせん かわじり 村道 川尻線 川尻		

施工前写真



施工後(現況)写真

